

みずき

mizuki



contents

CLOSE UP.....1	学友会だより.....8
巻頭言.....1	大垣女子短期大学での思い出...9
本学の今と未来.....2	Information.....10
学術シンポジウム開催...3	新聞掲載記事拝見♪.....11
第三者評価を受けるにあたって...3	23年度前期授業評価.....14
学科だより.....4	退職する先生より.....15
CLUB ACTIVITIES.....6	みずきトピックス.....16

CLOSE
UP

キャンパスにこぼれる

大垣女子短期大学の二大行事「みずき祭」と「こども祭」は、今年度も盛大に開催することができました。

笑顔!!

「みずき祭」

10月29日(土)、青空が広がる天気恵まれ、大垣市内外から約2,000人の皆様にきていただきました。今年のテーマは、＜100%の〇〇＞。学友会、クラス、クラブ、各学科卒業生の発表会など、すべての学生が100%の努力をしました。もちろん、模擬店も大成功!行列の出るお店もありました。このためか、キャンパスは一層華やかとなり、笑顔がこぼれる一日となりました。



「こども祭」

ふれあい!!

1月22日(日)冬晴れの下、地域の家族連れなど多くの皆様に来ていただきました。この催事は、幼児教育科が中心となって音楽総合科、デザイン美術科、歯科衛生科の4学科が揃って、日頃の学習成果を活かした催しをするものです。8回目となった今年は、「ぷっぱあ3丁目」をテーマに、劇「赤ずきんちゃんのたんじょうび」やゲーム、節分のお面づくり、楽器演奏、歯のブラッシング指導など学科ごとに子ども達が遊べ楽しめる催しが行われ、親子の人気を集めていました。



こうした学生主体、あるいは学科が共同し協力した行事はこれからも継続し、地域に愛される短大として成長してほしいと願います。

巻頭言

小物達に思う

G号館1階には、学生達がくつろげるちょっとしたスペースがある。テーブル2台と椅子数脚が置かれただけの空間ではあるが、そこを通る学生や、そこで集う学生達に、少しでも季節を感じ、気持ちを和ませてあげられたいと思う、その一角にここ数年来小物を飾り続けている。

4月は桜の花のタペストリーと菜の花で、新入生や進級した学生を迎え、5月の端午の節句には、兜をかぶったお手玉と菖蒲の花。梅雨時には、定番の紫陽花と蛙の置物。夏は元気の出るひまわりと涼を誘う風鈴。秋から冬にかけては、ハロウィンのかぼちゃやクリスマスの小物達。お正月は、獅子舞と干支の置物。そして、3月は雛人形のタペストリーと桃の花が卒業生を送り出す。

1年はあっという間で、この飾りの



歯科衛生科 関谷 智子

繰り返しも年を取る毎に早く感じる。以前何かの本に書いてあったが、1年を早く感じる不思議な「時」の感覚は、人は自分の「生きた時間」という物差しを使って「時」の長さを考えるのだそう。例えば同じ1年でも20歳の学生は1/20となり、私の場合はその倍以上早く感じることになる。感覚的にはそうであっても、実際は確実に学生達より長く生きている。その中で得られた知恵や教養を伝えていくことも、先に生きている「先生」の役目だと思っている。

このコーナーに飾る小物は年々増えていく。私が好む物を置いているので、学生達がどう感じているかはわからない。「忙しい」、「もお大変」を口癖にしている学生達が、この小物達を2回、3回と見るうち、季節が変わり確実に時が流れて、入学した時より成長している自分に気付いてくれていると嬉しい。ただ足早に前だけを見て過ごす人生ではなく、周りを見る目と心にゆとりを持ち、自然を感じる感性とともに、季節感のある生活ができる、そんな女性に育って欲しい。

桜 本学の今と未来

学長 中野 哲

本学は、全国に約2万4300人の卒業生を擁する幼児教育科、歯科衛生科、音楽総合科、デザイン美術科の4学科からなる総合女子短期大学で、43年の歴史があります。

現在、学生は自然一杯の恵まれたキャンパスで、F D 研修でより良い教育の実践を目指す情熱あふれる教員によってそれぞれの専門分野で学問・技術を学んでいます。また、子育て入門や美容と健康、郷土の歴史と文化など、これからの若い女性に必要な、かつ魅力的な一般教養についても4学科共通の授業を受け、課外活動でも文化クラブやスポーツクラブに積極的に参加して楽しく学んでいます。

幼児教育科では、音楽、造形、総合の3つの専修クラス別の特別なコースがあり、これらの幅広い教育によって多様な現場で働ける保育士の養成を目指しています。なお、学生と教員が一体となった子育てサロンやこども祭には多くの市民が参加しています。

歯科衛生科では、4つの専修クラスがありますが、口腔疾患と全身疾患との関連が明らかになった現在、内科学、老年病学などの臨床医学の教育も行い、口腔ケアのスペシャリストとして総合病院をはじめとする医療現場や官公庁など、様々な分野で活躍しています。

音楽総合科には5つのコースが設けられていますが、ウィンドアンサンブルは東奔西走の活躍振りで注目を集め、新設されたリペアコースには全国から学生が集まっており、音楽療法コースはこれからの医療に必要なものと実績を上げつつあります。

デザイン美術科は3つのコースがありますが、特に日本で最初にマンガコースを立ち上げた本学の人気は高く、プロのマンガ家として活躍している卒業生は既に20人を超え、昨年から短期間ながら、毎年フランスの学生が留学するようになっています。

以上、現在の4学科についての現況を簡潔に紹介しましたが、今春から日本中央看護専門学校が本学に併設されその後、来春には看護学科が新しく増設される予定になっています。看護師は悩める人々を対象にするので、看護の専門知識や技術を習得する以外に、豊かな人間性が問われます。本学の自然一杯のキャンパス、4学科の学生、教員との交流などの環境は極めて有意義であると思われます。

本学は今まで、総合女子短期大学として進歩を遂げて来ましたが、来年度からの新学科の増設によって今後さらに飛躍を遂げ、地域社会に貢献できると確信しています。



学術シンポジウム開催

総合教育センター長 矢田貝 真一

12月3日(土)に、第4回学術シンポジウムを開催しました。学術シンポジウムは、本学の教育・研究の状況や成果に関連した内容を地域のみなさまに発信することで、生活などに役立てていただくことを目的に、平成20年から開催して今年で4回目を迎えています。



今回は「2011デザイン美術科フォーラム」として「似顔絵の世界ー描く楽しさ、描かれる楽しさー」をテーマに、似顔絵の第一人者として新聞やテレビで活躍されている小河原智子さんと本学卒業生で名古屋を基盤に活躍されているゆうすけさんをゲストに迎え、2部構成で開催いたしました。

第1部では本学の篠田英男客員教授の司会で、ゲストのお二人にデザイン美術科の田中久志教授が加わり、テーマにそって対談をしていただきました。顔の魅力や描き方、そのための顔の分析や日常の訓練、そして似顔絵を学ぶ学生のようなすなど有意義な内容で、70人をこえる幅広い年代の参加者のみなさんにはたいへん興味深くお聞きいただくことができました。

第2部は、小河原智子さんに似顔絵の描き方をご指導いただくワークショップを企画しました。今年話題となった「なでしこジャパン」の澤 穂希さんを題材に、参加者のみなさんが似顔絵を描くコツなどを学ぶ良い機会にさせていただきました。

本学では、学術シンポジウムをはじめ、本学の教育・研究についてみなさまに発信してまいりますので、今後ともご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

第三者評価を受けるにあたって

大垣女子短期大学ALO(第三者評価連絡調整責任者) 石川 隆義

学校教育法に基づき、平成17年度より短期大学基準協会による第三者評価(法にいう認証評価)が開始されました。これによりすべての短期大学は、7年間に一度は教育・研究、組織運営、施設設備、財務等の総合的状況についての評価を受ける義務が生じました。

短期大学基準協会の行う第三者評価は、短期大学教育の継続的な質の保証を図り、加えて短期大学の主体的な改革・改善を支援して、短期大学教育の向上・充実に資するとともに、評価システムや評価の結果を公表することによって広く社会の理解と支持を得ることを目的としています。

本学はその最初の年に評価を受け、「適格」との結果を得ました。全国の短期大学で認証評価を受けたのは30校のみであり、中部地方の62校の短期大学でも本学を含む3校のみでした。本学ではその後も継続的に自己点検評価を重ね、平成20年度には再度「自己点検評価報告書」としてまとめ、それを基にして平成21年度には九州造形短期大学との相互評価も実施して参りました。

そして初回の第三者評価より7年の年月が経ち、再び平成24年度に評価を受ける事になりました。第2クール目の短期大学基準協会による評価は四つの基準から構成されており、まず短期大学の教育の成果を把握した上で、改めてその責任と役割を確認し(基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果)、その達成のために提供される教育や支援の状況を明らかにして(基準Ⅱ 教育課程と学生

支援)、その教育研究活動や短期大学組織を支える資源を把握し(基準Ⅲ 教育資源と財的資源)、全体を統制する仕組みを評価・点検する(基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス)ようになっております。また、短期大学の個性を伸長させることを目的として、「教養教育の取り組み」、「職業教育の取り組み」、「地域貢献の取り組み」という三つの選択的評価基準も設けてあります

短期大学が行う自己点検・評価は、第三者評価のためだけではなく、また、環境の変化への対応やコンプライアンスの強化を図るためだけでもありません。自己点検・評価は、短期大学の社会的使命や独自性を認識し、自らの教育研究活動の継続的な質の保証を図るために積極的に取り組むべきものであります。さらに、本学が地域に必要な存在としてより一層向上・充実していくためには、日常的教育研究活動や業務に自己点検・評価の視点を取り入れ、自主的な改革・改善に取り組んでいくことが肝要であると考えています。



学科だより

学科トピックス

1. 保育所保育実習・幼稚園実習

9月5日から16日、1年生は初めての保育所保育実習、2年生は幼稚園教育実習に出かけました。

2. 子育て支援演習

3年生が市内の子育てサロン等で子育て支援の現場に参加しました。親子と関わる難しさや子育てについて学ぶことができました。

3. 社会人基礎力グランプリ大会出場

11月25日、3年生による「おねえちゃんせんせの絵本やさん」を企画し発表しました。昨年に引き続き、奨励賞を受賞しました。

4. 学生主体「おにごっこ大会」開催

11月26日、レクリエーション・インストラクター資格取得を目指す2年生による「おにごっこ大会」を開催しました。授業で学んだことを活かし、企画・運営から全て自分たちで実施しました。参加していただいた地域の子どもたちと元氣いっぱいミニマダンスやしっぽりをして過ごすことができ、とても貴重な体験となりました。

5. 大垣市子育て支援センターフェスティバル参加

11月27日、2年生数名がアンパンマンショーを披露し、地域の子どもたちとたくさん触れあうことができました。

6. 岐阜県「学生による地域課題解決提案事業成果報告会」出場

12月10日、レクリエーション・インストラクター資格取得を目指す2年生全員で「おにごっこ大会」の発表をしました。今後も地域課題解決提案事業として「おにごっこ大会」を継続していけるよう後輩たちに引き継いでいきたいです。

7. 子育てサロン「ぷっぷあ」クリスマス会

12月22日、クリスマス寒波の襲来で朝から寒くなりましたが、今年もたくさんの参加者があり、3年生数名による歌や手遊びで会をすすめました。参加していただいた子どもたちと一緒に楽しいクリスマス会となりました。

幼児教育科

「こども祭」による学生の確かな育ち

「こども祭」は今年で第8回目を数えることとなりました。学生の日頃の学修成果の発表とともに地域の子どもたちと交流を図ることを目的に、回を重ねるごとに来場者数も増え、今では冬のイベントとして地域に根付いています。

第1回目は平成17年1月に「幼児教育祭」の名称でスタートしましたが、当時の幼児教育科は2年制の教育課程で1学年に100名を超える学生を擁していました。思えば、その学生たちが果たして子どもたちの喜ぶような企画・運営ができるのか、また一番寒い時期に来場者が見込めるのか、心配が山のようにあったものの開場もなく、次々と来場される親子連れによって瞬間に体育館のブースがいっぱいに。子どもたちの溢れんばかりの笑顔、その笑顔を見てうれしそうな親さんたち、そして学生たちの満足そうな顔がありました。

第5回目からは他学科の企画も加えて全学的な取組みになり、名称も「こども祭」に変更し、現在に至っています。幼児教育科としては、年々新しいプログラムややり方に挑戦しつつ、学生相互の協力、学年交流による育ち合いの場となり、保育者養成に大きな位置を占めています。

学科長 有岡 登美



↑2年生：はいからさん(オシャレな服をつくろう!)



↑3年生：劇あそび(ねこ十二支)

8. 第8回こども祭「ぷっぷあ3丁目」開催

1月22日、8回目を迎える「こども祭」が開催されました。今年も大勢の参加者があり、3年生の劇の発表やお面作りに的あて、さかなつりや写真屋さんなど楽しい企画で地域の子どもたちも大喜びでした。今年も盛大に行うことができました

9. 卒業研究発表会

1月25日、3年生による卒業研究発表会を行いました。幼児教育科全学年出席のもと、5組がこれまで取り組んできた研究成果を発表しました。

10. 人形劇

2月1日、人形劇団京芸「火よう日のごちそうはひきがえる」を鑑賞しました。

デザイン美術科

デザイン美術科の空気はゆっくりと流れています。やや少なめの学生数ですが、味わいのある個性の量は変わりありません。描き、作り、語る、何でもよいような環境の中で花のつぼみが緩むように、一人ひとり確実に成長をしているように感じます。

平成23年度後半は学外研修で9月、恒例の在京出版社へのマンガ原稿持ち込みツアーを、11月にはフランス・ユラジウム校の留学生4名と共に宇治平等院と石山寺へ行きました。12月3日、東京からイラストレーター・小河原智子さん、本学卒業生の似顔絵師・中田裕子さん、本学「似顔絵」科目担当の田中先生に司会篠田先生を加えて学術シンポジウム「似顔絵の世界」を開催しました。似顔絵展、ワークショップも盛り込んだ、学科としては画期的なイベントだったと言えます。12月下旬、福島県の郡山女子大短期大学部生活芸術科学生のコンペ応募作品を学内ギャラリーで展示しました。地震、津波、原発問題の解決されない今、強いメッセージ性のある作品に胸を打たれました。2月の卒業記念展(岐阜県美術館)は第40回と節目の開催となり、今更に学科歴史の厚みを知る思いです。

社会の不況にもめげず美術を目指して入学した学生諸君には学習を経て後、広い視野で見た時の充足が得られるものと確信します。学友、職員に心通わせあいながら、本学での学生生活を実り多いものとしましょう。

学科長 松本 英三

学科トピックス

活躍する卒業生

- 平成9年卒 横井綾子
平成24年1月17日～22日 愛知県美術館ギャラリー水彩協会展出品
- 平成13年卒 高野綾
平成23年10月24日双葉社よりコミックス「ゴメンナサイ」発売
10月29日より劇場映画「ゴメンナサイ」公開
- 平成20年卒 高橋加奈子
平成23年10月18日 アルティマエース(角川書店)にてデビュー

クローズアップ

平成13年卒 樋渡 千晶

雑誌「BLADE MASAMUNE」
「2006年」「空々(からから)」デビュー

現在の
仕事

「月刊BLADE」にて「CRYEYE」連載。(今年1月発売のもので終了)
コミックス情報「CRYEYE 1」「2巻 4月10発売予定」

コメント

「漫画は学生もプロも一般人も全員がライバルです。漫画は運も大切で、友人も大切にしましょう。一人原稿と向き合っていると寂しいです!(笑)お互いに頑張りましょう」



集英社講演会

平成24年1月11日開催



学科の取り組み・行事

10月2日(日) 定期演奏会

オーディションで選抜された出演者9名が、緊張感あふれる中、精一杯心を込めて演奏しました。素晴らしい舞台での演奏は、良い経験となりました。

10月19日(水)・28日(金)、11月4日(金)・12日(土)・18日(金)他 ウインドアンサンブルコース・管楽器リペアコース

幼稚園・小学校音楽鑑賞会 他

11月5日(土)

ピアノコース・電子オルガンコース

アクアウォークにて電子オルガン演奏



11月15日(火)～29日(火)

音楽療法コース、臨床実習

2012年2月11日(土・祝) 卒業演奏会

卒業演奏試験の成績優秀者が出演する、2年間の集大成となる演奏会です。

2012年3月17日(土) 第17回ウインドアンサンブルフェスティバル

毎年、迫力ある演奏をお送りしています。

管楽器リペアコース

へんてこな楽器を制作してみました。いざ音を出してみると演奏しづらく、管の形状やレイアウトは計算されて出来ている事を再認識した貴重な体験でした。



音楽総合科

ピアノ・電子オルガン・ウインドアンサンブル・管楽器リペア・音楽療法の5コースそれぞれが専門的な教育及び専門性を活かした活動を行っています。

ピアノコース、電子オルガンコースでは、各種グレード取得を目指したカリキュラムの充実を図り着実に成果を上げています。また、地域催事等での依頼演奏も積極的に取り組んでいます。

ウインドアンサンブルコースにおいては、個人レッスンの回数増、アンサンブル授業の強化等、更なる個々の演奏力向上に向け取り組んでいます。演奏活動としては、2012年ぎふ清流国体CDのレコーディングを含め年間40回を超える依頼演奏の他、近隣中学校、高等学校への指導にも出掛けています。

管楽器リペアコースは、ヤマハ管楽器リペアグレードの他、学内技術認定制度を設け、演習授業の充実を図っています。また、実践力を身につけるために、夏には北名古屋市の小学校金管バンド使用楽器を対象に点検修理を行ってきました。

音楽療法コースでは、学内授業の他、実習授業を充実させ、音楽療法セッションのみでなく助実習を行うことにより、就職時の実践力強化に取り組んでいます。また、授業以外でもボランティア活動として各施設に出掛けています。

今後も各専門教育強化と共に、それを活かした活動を展開していきたいと考えています。

学科長 服部 篤典

歯科衛生科

昨春の「歯科衛生士国家試験」では卒業生全員合格との吉報を受け、在校生たちも平成23年度が充実した1年になるよう勉学や課外活動に頑張ってきました。この平成24年度をもって歯科衛生科は保健科第一部の開設以来38年目を迎え、その伝統の維持・発展に努めています。

いよいよ今年度後期より、3年生を対象にした臨床・臨地実習において「専修クラス」が開始されます。今までは、どの学生にも同じ内容の実習プログラムを実施してきましたが、この専修クラス制では一人ひとりの学生の卒業後の希望進路に合わせ、「総合病院歯科専修クラス」「審美歯科専修クラス」「専門的口腔ケア専修クラス」「総合歯科診療専修クラス」のいずれかを選択できるようにしました。これにより、将来歯科衛生士としての専門性をより高めることができるようになり、スムーズな就職現場先への移行が期待されます。

3年生は現在、国家試験対策勉強に必死に取り組んでいます。今回の試験より出題範囲の領域も増え、問題数も220問(昨年末で200問)となり、学生共々教員はその対策に躍起となっています。2年生は現在、臨床現場の厳しさに直面しながらも臨床・臨地実習に元気に取り組んでいます。1年生も学内実習でのユニフォーム姿も板についてきて、この1年間で一回り成長したように思います。

最後になりましたが、本学の同窓で永年歯科衛生士の教員として、学生教育にあたってこられた関谷智子准教授が、大変惜しまれますがこの3月末にご退職されます。今後とも何卒、歯科衛生科へのご支援とご指導の程をよろしくお願い申し上げます。

学科長 石川 隆義

学科の取り組み・行事

1. 卒業研究発表会 平成23年10月6日(木)

「卒業研究」という科目を選択した3年生による、研究成果の発表会を全学年が参加して行いました。発表内容を抄録とスライドにまとめ、決められた時間内に発表が終わると、後輩や先生方から例年より多くの質疑応答があり、活発な卒業研究発表会となりました。



2. 決意を語る会 平成23年11月16日(水)

11月末から開始する臨床・臨地実習に臨む決意を、2年生が学内外の列席者と後輩の前で表明しました。2年生はこれから約1年間の臨床・臨地実習にです。



3. 臨床・臨地実習報告会 平成23年11月22日(火)

臨床・臨地実習を終えた3年生の代表者が、これから臨床・臨地実習を開始する2年生に、各実習施設ごとの報告を行いました。

4. 臨床・臨地実習開始 平成23年11月28日(月)

5. マナー講座

平成23年12月5日(月)
3年生:和食のマナー
平成24年1月18日(水)
1年生:洋食のマナー



3年生



1年生

6. 第21回歯科衛生士国家試験 平成24年3月4日(日)

試験会場:愛知学院大学 楠元キャンパス
合格発表:平成24年3月28日(水)

山歩き会

自然を楽しみながら 山を歩く!

メンバー同士が支え合いながら山頂を目指します。登りきった達成感は格別です。四季の山の色の移り変わりを楽しむ事ができます。(筆・野原 美里)



● 幼児教育科
太田 純令

毎月1回 場: 岐阜の野山



新しい「自分」の発見。
仲間との出会い!

バレーボール 1回でも多くの 試合に参加して一勝!

初心者でも気軽に楽しめます。秋の試合があるので、練習にもやりがいがありますよ。



● 歯科衛生科
山下 仁子(岐阜県)

週1/木 場: 体育館

剣道部 楽しくて仲よし

運動不足の解消!剣道の稽古をしています。

● デザイン美術科
松尾 有里子(大垣桜高校)

不定期 場: 体育館2階

テニス 「アットホーム」です

気持ちの良い汗がかけますよ!

● 幼児教育科
若野 汐里(大垣桜高校)

週1/火 場: テニスコート

バスケットボール

楽しく やりましょう

自分のペースで目標を決めます。

● 幼児教育科
三原 香菜
(彦根総合高校/滋賀)

週2/水・金
場: 体育館

フットサル

楽しくできるサークル

体を動かすことによりストレス解消にもなり、人とのコミュニケーションをとることができます。

● 幼児教育科
明田 真夕子
(大府東高校/愛知)

週2/月・金
場: 体育館

夕焼けキャッチボール

楽しく!

わいわいゆる〜く、
時に熱くキャッチ
ボールをします。

● 幼児教育科
長江 美央(岐阜県)

週1/木
場: グラウンド

トライアスロン

ひたすら楽しく、明るく、元気よく

負けない心を養うことができます!

● 幼児教育科
豊永 里奈(大垣桜高校)

週1/木 場: グラウンド・体育館・ジム



地域歴史文化探訪会

歴史に触れて 自分に生かす

地域の歴史に触れることで、今まで知り得なかった歴史上の人物の生涯やその人物が残した大切なものを知ることができます。今の大事さを再確認できます。

● デザイン美術科
和田 梢
(飛騨神岡高校)

毎月1回 場: D202

Dance~CRASH~ 仲良く、楽しく活動(^ ^)

体を動かす楽しさ、仲間
との交流を深めます!

● 歯科衛生科
服部 未穂
(富田高校)

週1/水
場: 体育館2階

バドミントン

気軽に入部できて、 全員が楽しめるクラブ!

初心者も経験者も関係なく皆で楽しんで活動
しています。秋の大会にも出場します!

● 歯科衛生科
久村 真子
(八幡商業高校/滋賀)

週2/火・木

場: 体育館



踊ってみた みんなで踊る!

みんなが主役となってこのクラブを
盛り上げ一つになろう!「sm16100429」
ニコ動みてネ!

● デザイン美術科
松尾 有里子
(大垣桜高校)

週2/火・水

場: 体育館2階

コンテンツ産業部

楽しく個性を生かした作品づくり

作品やテーマに対して、人それぞれにある
とらえ方を、発表を通じて共有し、自分の
新しい発見につながるととても楽しいです。

● デザイン美術科
村上 海(起工業高校/愛知)

週1/火

場: E103

パソコン

アットホームなクラブ

絵のスキルが上がるだけでなく、クラブを通じて
友達がたくさんできます。優しい先輩ばかりです。

● デザイン美術科
山田 紗矢
(岩倉総合高校/愛知)

週1/火

場: D305



入りたいクラブがあればすぐ連絡してみてね!

分からなければ学生支援課へたすねてみよう!

Activities

V.G.トライアングル

たくさんの笑顔届けたい

唱歌・季節の歌など様々な曲に触れることができます。また、身体活動もあり、利用者の方々と一緒に楽しく活動することができます。たくさんの笑顔に出会うことができ、とてもやりがいを感じられます。



音楽総合科
丹羽 未雪(晩高校/三重)

毎月1回 場: B204・福祉施設

軽音部

仲良く楽しんで上手になれる場所

初心者でも楽器を演奏できるようになります!練習すればするだけ上手になれるのでとてもやりがいがある部活です^_^

音楽総合科
宇柰 奈津実(静岡県)

週2/火・水
場: F201

ピアノ・エレクトーンアンサンブル

先輩・後輩関係なく楽しく活動

アンサンブルは楽しいだけではなく協調性や団結力も生まれます。コンサート等人前で演奏することで度胸がつきます。



幼児教育科
田島 孝恵(大垣養老高校)

週1/木 場: B302

児童文化

学年関係なくみんな仲良く♡

着ぐるみを着て、新しい自分を発見しよう!子どもたちと触れ合えて楽しいよ!



幼児教育科
小森 佳代(池田高校)

週1/金 場: 体育館2階

音楽隊 パタポン

音を楽しみ、笑顔溢れるクラブ

絵本を元にした曲を歌うことで、より絵本に興味を持てるようになったり、普段は聴かないようなジャンルの曲に触れることができます。

幼児教育科
近藤 楓夏(海津明誠高校)

不定期
場: F101

JAZZ

ジャズを思い切り楽しむ

ランチタイムコンサートやみずき祭に向けて日々練習します。

幼児教育科
澤田 千晶(長浜北高校/滋賀)

週1/木
場: B401

漫画研究部

フリーダムなクラブ!!

それぞれが有意義な時間を過ごし、絵を描いたり、漫画やアニメについて語ります。フリーなサークルなので、自由が好きな人にはおすすめです。

デザイン美術科
花井 沙奈絵(愛知みずほ大学瑞穂高校/愛知)

週2/月・金
場: みずきサロン

aim

みんなで楽しくマンガを描く

創作マンガを一から最後まで描ききった達成感は大きいです。特徴は著作権ではなく創作のマンガを描くところです。

デザイン美術科
清水 友加里(八百津高校)

週2/火・水
場: D301

ボカロ部

動画投稿サイトへのアップロードを!

音声合成ソフトを使った曲作りや、PV作りをします。楽器ができなくても作曲できます。

デザイン美術科
赤羽 望見(田川高校/長野)

週1/月 場: B404(D302)

演劇部

自分の意見を言えて、のんびりとやっていく

- ①台本を一から作った時の達成感が味わえます。
- ②自分ではない役を演じられる楽しさがあります。
- ③一人ひとりが支え合って一つのものを作る楽しさはかけがえのないものです。

幼児教育科
小林 加奈(杏和高等学校/愛知)

週1/水

場: みずきホール・体育館2階

世界文化研究部

なごやかに楽しく、いろんな料理を作る

世界の国の料理を作ることを中心として日本と世界への理解を深めることができます。

デザイン美術科
河合 尚子

不定期 場: みずき会館

茶道部

やまとなでしこな女性になる

お茶の作法を学べたり、着付けについての勉強ができます。

歯科衛生科
西松 美紅(大垣商業高校)

週1/木 場: 和室

Song & Song

みんなで楽しく歌う!

いろいろな曲に触れることができる。発声練習など、本格的な練習も出来る。

幼児教育科
近藤 楓夏(海津明誠高校)

週1/水 場: F101

ウインドアンサンブル

音楽の楽しさを伝える

年間約40回にも及ぶ演奏活動をしています。多くの方に音楽を届け、お客様が喜んでくれたり笑顔になってもらえときなどにやりがいを感じます。

音楽総合科
谷口 理香(東濃実業高校)

週1/月 場: B101

写真クラブ

みんなでワイワイ趣味を楽しむ!

月一回の活動や写真展などで自分の作品を見て、「すごい!」「めちゃうちゃキレイ」と他人から言ってもらえるとすごく嬉しい自信に繋がります。

(筆・大濱 あす香) 幼児教育科
太田 純令

第2木 場: A305

手話

只今部員ゼロです。みんなでやり始めませんか?

講師の方をお招きし、手話で挨拶から自己紹介、日常会話を練習します。自分の名前を手話で紹介できるとうれしいよ。(筆・村越先生)

学友会 だより

私たち学友会役員は学友会であるみんなのリーダーとして、行事等運営をしていきます。
先輩、後輩、他学科との交流を大切に有意義な学生生活にしていきたいと思います。

学友会活動

2017

4月 FSC(ファーストステップキャンパス)

新入生を迎え、クラブ紹介と学友会からの紹介をしました。
クラブ紹介では、クラブ部長がコメントでの紹介ではなく
実演をしたり作品をスライドで見せたりと色々な形で
紹介をしました。学友会からは学校を好きになってもらい
たいという想いから、学内施設の紹介や、学科長のインタ
ビュー映像を作成しました。



2017

7月 セタ茶会

茶道部と協力をして、お茶と和菓子を
振る舞いました。セタの笹飾りには
皆の願いが込められ、日本の四季を
感じることができました。



2017

10月 十万石まつり

毎年必ず晴れるこの十万石
まつり。ウインドアンサンブル
の活躍を中心に、みんな
で声をかけあいお祭りを盛
り上げました。



2017

10月 留学生歓迎会

フランス、ユーラジウム校からの留
学生4人の歓迎会を行いました。最初
はお互いが緊張をしていましたが、そ
れぞれが用意をした手巻き寿司やク
レープを作りながら会話を楽しむこ
うことができました。

2017

12月 クリスマス会 & 先輩を送る会

学友会と留学生と一緒に、ゲームやプ
レゼント交換を楽しみました。また学友会役
員メンバーの世代交代により、先輩方へ
感謝の気持ちを伝える会ともなりました。



2011年学友会活動、 がんばりました!

副会長 歯科衛生科 松崎 江美
会計 幼児教育科 西山 麻有
書記 デザイン美術科 玉森 智恵美
委員 歯科衛生科 梅田 美幸
委員 幼児教育科 矢井 里奈



会長 デザイン美術科 井口 瞳
監査 音楽総合科 井上 瑞紀
監査 音楽総合科 馬淵 麻美

2011年

薔薇を贈る思い

入学時には「淡いピンクの薔薇」、卒業時には「深紅の
薔薇」をいただきますよね。この薔薇の意味を、みな
さんは知っていますか? 私たちは大垣女子短期大学に
入学し、知識や技術を身に付け、様々な経験をして
きました。夢の実現に向かってたくさんの努力を積み
重ね、色濃く、深く成長して卒業していく私たちの
姿を、ピンクから深紅に染まった薔薇の色に例えて、
先生が送ってくださるのです。

会長 力 紫湖(ちから ゆかりこ)



先輩方から学友会を引き継ぎ、3カ月が経とうとしています。
今まではずっと先輩方の背中を追って動いてきたので、いざ先頭
に立ってみるとなかなか意見が出ず、物事を上手く進めることが
できませんでした。しかし、前年度学友会の先輩方を始め、事務
の方々、そして学友を支えてくださっているみなさまのおかげで少
しずつ自分たちのやりたいことが形になってくるようになりました。
これから春にはFSC、秋にはみずき祭など私達が中心となっ
てやるイベントがたくさんあります。意見が決まらずに悩んだり
ぶつかったりすることも少なくないと思いますが、私達らしく「本
当にやりたいことは何なのか」ということを追求して、日々頑張っ
ていきたいと思います。

まだまだ未熟な私達ですが、これから精一杯頑張っていきたい
と思いますので、応援よろしくお願いします。

新学友会役員紹介

任期 平成23年12月1日より平成24年11月30日

会計 幼児教育科 川瀬 真理奈
監査 歯科衛生科 横井 愛実
書記 デザイン美術科 花井 沙奈絵
監査 音楽総合科 松本 美多葉



委員 歯科衛生科 佐藤 ありさ
副会長 幼児教育科 高橋 香澄
会長 音楽総合科 力 紫湖
委員 デザイン美術科 中村 文香

2012年

大垣女子短期大学での思い出

幼児教育科

日々の保育を通して

古田 晶子 平成6年3月卒業
大垣市立幼保園勤務



私は現在、幼保園に勤務し未満児クラスを担当しています。
大垣女子短期大学を卒業しは十数年…。十数年経過した今でも新たな驚きと感動、そして勉強の日々です。

3月に短大を卒業し、4月からは4歳児24名の先生として子ども達の前に立ちました。子ども達にとっては新人であってもベテランであっても「先生」です。子ども達の大切な命を預かるという大切な役割、責任をずっしり感じたのを覚えています。それと同時に初めて子ども達から「先生」と呼ばれた感動は今でも忘れられません。

短大での課程を修了し、保育に対する勉強は終わりというわけではなく、むしろ始まりです。実習時とは違い自分がクラスの責任者であり、クラスを運営していくのです。私は初めてクラスを受け持ち、自分が勉強不足であることを感じ、短大での講義を学び直したいとも思いました。実際には社会に出てから気づくことが多いですね…。後悔しない為にも、学生時代に子育て支援センターにボランティアで参加したり、研修に行ったりするなど、多くの実践経験を積み現場に生かせるようにしておくことを勧めます。

今は「ぎゅっ」と私の服にぎる小さな0歳児、1歳児の手に癒されながら、毎日の成長を大切に见守っています。

子ども達に大きな影響を与える保育者の仕事は責任重大ですが、それ以上にやりがいがある仕事だと日々感じています。

これからも保育者として、子ども達と共に成長していきたいと思っています。

デザイン美術科

充実した短大生活

酒井 由紀子 平成23年3月卒業
トヨタカラー岐阜株式会社勤務



私は大垣女子短期大学の2年間で、やりたい事をたくさん勉強しました。

授業のカリキュラムは興味があることばかりでしたので、可能な限り授業をとり学び、毎日が大変に充実していました。デザイン美術科ではマンガコースを選択しましたが、4コマや似顔絵にも興味を持ち、特に似顔絵では先生方のご指導のおかげで、様々なイベントに参加でき、とても良い経験をさせて頂きました。また、地域の夏祭りのキャラクターを作成する機会も頂き、商店街の皆さんと交流できたことは思い出の一コマとなっています。

短大生活で一番得たものは気の合う生涯の友人達に出会えたことです。出版社持込や卒業作品制作の折には合宿を行い徹夜で頑張りました。友人達と共に学び語り合ったことは最高の思い出です。そして、先生方にも大変お世話になりました。

短大卒業後は自動車販売会社の経理に就職しました。昔から計算が好きだったので、就職して一年を迎えましたが、順調に勤めることができています。将来的にはイラストレーターの仕事をしたいと思っていますので、現在も作品作りをしています。

学生時代に自分に出来る事を精一杯する事が就職活動や人生の糧になることだと私は信じています。皆さん!一日、一日を大切に、大垣女子短大で最高の学生時代を送って下さい。

音楽総合科

短大生活の思い出

森田 佳子 平成20年3月卒業
病院勤務



私は現在、地元の病院で介護の仕事をしながら病院内のデイケアで音楽療法を行っています。至らない点が多く、頭を悩ませることも多々ありますが、利用者の方や、患者さんの笑顔を見ることが出来るやりがいのある仕事です。

普通科の高校を卒業して短大に入学した私は、毎日何かしら楽器の音がしている日常が刺激的でもあり、幸せでもありました。授業では、友達たちと比べて出来ない自分に劣等感を抱えて落ち込むこともありましたが、今では良い思い出です。学業以外でも短大生活で学んだことは、今社会人として大いに役に立っています。

実家を離れ、初めての寮生活、アルバイト、学校生活。不安を抱えて始まった生活でしたが、楽しくて、あっという間の2年間でした。皆さんの中にも、不安や悩みを抱えている方もいると思いますが、周りに相談できる友達、先生方、学校事務の方々、たくさん頼れる人たちがいるはずですよ。

いろんな人の意見を聞き、吸収できることはどんどん吸収して、成長できる今を大切に過ごしてほしいと思います。

歯科衛生科

学生時代とこれから

長澤 舞 平成20年3月卒業
とも歯科クリニック勤務



私の学生時代は、歯科医院と寿司屋のアルバイトで忙しい日々を送っていました。授業中は、よく居眠りをして、ろくに講義を聞いていない、優等生とはほど遠い存在でした。そんな私ですが、友達・先生方に指導していただいたおかげで、国家試験に合格する事ができました。今は、感謝の気持ちでいっぱいです。この学校の卒業生で本当に良かったです。

社会人として、今年で4年目になります。毎日仕事をしていて、正直、少し心が折れそうな時もありましたが、家族や先輩方や友達に助けをもらい、今の私があります。

患者さんとの関わり方は多様・個別的で、歯科衛生士とは、奥深く、やりがいのある仕事です。これからは、歯科医師が行う「治療」という時代から「予防」を重視する時代に移ってきた現在、歯科衛生士の仕事の重要性は増すばかりです。当然のことながら、衛生士に要求されるレベルも上がっていきます。その要求に応えられる衛生士になるため、勉強やセミナーに真剣に取り組みたいです。

みなさんにも、これからいろいろな出会いや経験があります。それを大切にし、後で後悔しないよう、勉強する時はしっかりして、遊ぶ時は思いっきり遊びましょう。

ただ、国家試験の前にも痛感しましたが、社会人になってからも健康管理はとても重要なことだと思います。

Information

●平成24年度 主な全学行事

入学式 ……………4月1日(日)

ファーストステップキャンパス(FSC) ……4月4日(水)

健康診断 ……………4月5日(木)

前期授業 ……………4月6日(金)～7月26日(木)

前期定期試験 ……………7月27日(金)～8月2日(木)

後期授業……………9月24日(月)～1月28日(月)

後期定期試験 ……………1月29日(火)～2月4日(月)

音楽総合科定期演奏会 ……………10月6日(土)

十万石祭り……………10月7日(日)

みずき祭前日祭・みずき祭 ……10月26日(金)・27日(土)

こども祭 ……………1月20日(日)

デザイン美術科卒業記念展 ……2月5日(火)～2月11日(月・祝)

音楽総合科卒業演奏会……………2月11日(月・祝)

平成23年度卒業証書・学位記授与式 ……3月17日(日)

●平成24年度 オープンキャンパス開催日程

5/19(土)、6/24(日)、7/22(日)、8/19(日)、9/15(土)、
10/21(日)、10/27(土) 大学祭同時開催、12/22(土)

オープンキャンパスに関するお問い合わせ
教務・広報課 TEL 0584-81-6819

●人事短信(平成24年3月31日付)

退職	幼児教育科教授	有岡 登美
	幼児教育科教授	役田 亨
	デザイン美術科教授	松本 英三
	デザイン美術科教授	三宅 喜美代
	歯科衛生科准教授	関谷 智子
	総合教育センター准教授	茂木 七香
	総合教育センター助教	清水 憲志
	総務課付課長	若村 宣彦
	図書館事務室長	額 春彦



デザイン美術科 黒田 皇

日本のコンテンツは、特色ある世界観や品質の高さによって、国内はもちろんのこと世界的に受け入れられ、その文化的影響力はとても大きいと言われています。「クールジャパン」という概念とともに、新たな日本のイメージが生まれました。コンテンツとは、内容、中身という意味であり、一般的には、映像や画像、音楽、文章、あるいはそれらの組み合わせを意味し、ニュース、小説、映画、テレビ番組、歌、ゲーム、マンガ、アニメーションなどと、ジャンル別に語られています。

しかし、本来コンテンツは、人間の感性に直接働きかけ、人間に感動、興味、娯楽、生きがい、

安心感、心の豊かさをもたらし、それを創り出す人にも、精神的な充実感と達成感を与え、人間の価値と尊厳を享受させることができるものと考えます。よってコンテンツ分野のソフト開発は、ジャンルの垣根を超え、横断的に扱えるものが理想といえます。

コンテンツ制作時に大切にしたいのは、コンテンツは「人間に楽しみを与え、生活に豊かさを与えるもの」として捉え、既存の枠組みを守るためのルールでなく、グローバルなルールのもとに結果を出すことを意識し、今できることを形にしていこうことです。私は、学生にアニメーション制作を

指導する上で、注意していることは以下のことです。「自分の感性と向き合ってコンセプト立案をしているか?」「限られた資源をどの様に配分するか?」「視聴者視点に立って物語が構成されているか?」です。情報技術の発達によりアニメーション制作の効率化が進み、個人で作ることが可能となりました。さらに活用される場面も広がりを見せています。

私は、アートワークやアニメーション教育を通じて、コンテンツの素晴らしさを少しでも多くの人に伝えて、そしてその可能性を少しでも具現化できるよう研究をしていきたいと考えています。

新聞に掲載された
本学の記事・本学のスナップ

平成23年2月～
平成24年2月

最後の講義 学生にエール

漫画家の大垣女子短大・篠田副学長



漫画家として知られる大垣女子短大の篠田副学長。2月3日、大垣市の同校で、最後の講義として、学生にエールを送った。篠田さんは、漫画家としての経験や、学生生活での思い出などを話した。学生からは、篠田さんの話に感動する声や、エールを送る声が上がった。

この日の講義では、「マンガで歩いた人生」から、漫画家としての経験や、学生生活での思い出などを話した。学生からは、篠田さんの話に感動する声や、エールを送る声が上がった。

手塚治虫さんに師事「人生は積極的に」

篠田さんは、漫画家としての経験や、学生生活での思い出などを話した。学生からは、篠田さんの話に感動する声や、エールを送る声が上がった。

平成23年2月4日 中日新聞

迫力の音色で来場者魅了

大垣ウインドアンサンブルが定演



大垣女子短大のウインドアンサンブルが、2月15日、大垣市で定演を行った。演奏は、迫力の音色で来場者を魅了した。演奏は、迫力の音色で来場者を魅了した。

平成23年3月15日 岐阜新聞

夢への第一歩 画人が入学式

大垣女子短大 入学式



大垣女子短大の入学式が、2月20日、大垣市で挙行了。入学式では、新入生が夢への第一歩を踏み出した。入学式では、新入生が夢への第一歩を踏み出した。

平成23年4月3日 中日新聞

大垣女子短大 画人が入学式

大垣女子短大 入学式



大垣女子短大の入学式が、2月20日、大垣市で挙行了。入学式では、新入生が夢への第一歩を踏み出した。入学式では、新入生が夢への第一歩を踏み出した。

平成23年3月21日 岐阜新聞

大垣の短大 仏専門学校と提携

留学マンガ

聴講生受け入れ「本場で」熱意高く



大垣女子短大と仏専門学校が提携し、留学マンガの聴講生を受け入れる。聴講生は、本場で熱意高く学ぶ。聴講生は、本場で熱意高く学ぶ。

平成23年6月4日 中日新聞



平成23年6月8日 岐阜新聞

大田で
フェス
磨き方指導も受ける

[illegible]

平成23年10月27日 岐阜新聞

私立学校振興会の沿革

大井女子大学に設置される
私立女子大学開校運動が
十七日、旗幟を掲げて開か
れ、大阪市河津町の
二日本中学校運動場
校一の設備を充て、日本
中学校学園（大阪市）か
ら大塚女子短大（同）
の一に改称するとする
協定もなされたとする
記事が載った。協定は早
れに開校された設備を
活用する協定、東生
月からの要請される
定。
協定によると、西園
城には看護部と看護
大学、短大が、そ
うして看護部を求め
て大学の養成を求め
る。協定は、両学校
に設けられ、両学校
に設けられることとな
る。

このほか、書道会では、書道大可成小中学校の同好会（書道部）やアールズ日本の同好会（書道部）を統括するアールズ日本ユニオン学校（東京・豊島区）の設立が計画されている。四校を「通都二」と合併して、

（石井正樹）

平成23年11月18日 中日新聞

[illegible]

平成23年12月4日 岐阜新聞

③ 日
十和田市西田町。大
須賀の地には、江戸後
一時々の、岡太半衛
シシと云う。「松園組」
の境界、越え、
種は異なる。一、世

を語っている。前半の
ト・ラ・ベ・ト・では、
松園組が平山に居る
さる「中里」ともい
アール・リー・二種の属
種と推察している。サ
ン・新田村の中へ入

[illegible]

平成23年12月1日 中日新聞

[illegible]

平成23年12月2日 中日新聞



平成23年12月15日 中日新聞



平成24年1月1日 岐阜新聞



平成24年1月23日 中日新聞



平成24年1月24日 岐阜新聞

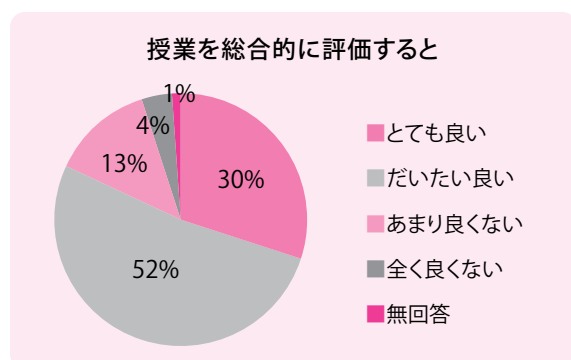


平成24年2月8日 岐阜新聞

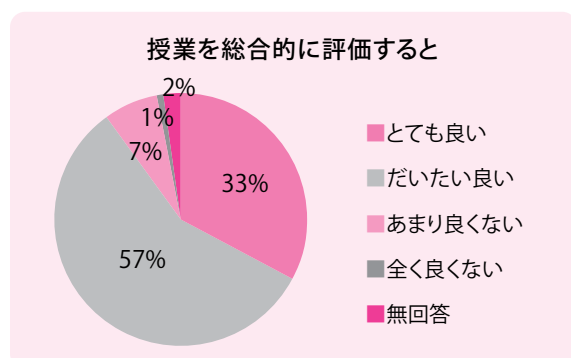
23年度前期授業評価を実施しました

23年度前期に全学科58科目で、学生による授業評価を行いました。項目は講義系14項目、実技系15項目であり、「しっかりできた」や「全くできなかった」などの4段階で回答を求め、無回答も含めた5段階でデータを算出しました。内容は「受講態度」や「授業外の学習」など学生自身に関すること、「熱意や誠意」や「シラバスにそっているか」など教員に関するものについて調査し、また「授業の総合的な評価」についても評価がされました。次の図は授業の総合的な評価を示しています。また、それぞれの問いに対する回答結果は以下の通りでした。

●講義系の結果



●実技系の結果



◇積極的な姿勢で授業にのぞんでいると回答した学生は、講義系82%・実技系91%となっており、昨年度以上に意欲的に取り組もうという学生が増加しています。その一方で残念なことに、授業内容や到達目標、評価方法などを提示しているシラバスについては、講義系で54%、実技系で58%の学生しか読んでいません。しかし、授業外での学習については、講義系で50%、実技系では

72%もの学生が取り組んでおり、こちらも昨年度以上に増加しています。しかし授業形態による違いで20%以上の大きな差が見られることも事実でした。

シラバスが、学習成果をより高めるためのものであることと、授業の前にしっかり確認し、到達目標や必要な準備物などを確認することの重要性を学生のみなさんにぜひ理解してほしいと願っています。シラバスと授業の内容が合致しているかという問いには、講義、実技系ともに85%以上が「そっている」と回答している点から、事前に授業にシラバスを読んで到達目標や毎回の授業内容をしっかりと確認することで、学びの質をより高めることが出来ると考えられます。

◇教員への評価として、「熱意や誠意」「話し方」「重要点の強調」「専門知識や技能」など講義系10項目、実技系11項目のすべてにおいて80%以上の肯定的な評価が出ています。授業の形態を問わず、本学教員の日々の授業に対する努力を、学生が高く評価していることがうかがえます。こうした努力を今後も積み重ねていくことがよりよい授業作りには大切だと思います。

こうしたこともあって、総合的な評価では講義系82%・実技系90%が肯定的評価をしており、本学の多くの授業が学生から一定の評価を得ていることも伺えます。しかし前年度後期の総合的な評価は、講義系90%・実技系95%でしたので、評価を受けた授業科目に違いがあるとはいえ、課題として考えていく必要があります。

またその他の課題としては、肯定的評価のうち「だいたい良い」という回答を「とても良い」に、否定的評価の「全くよくない」、「あまりよくない」という評価を少しでも高めていくために、さらなる努力が求められています。そのために、一人ひとりの教員が学生の思いや願いをしっかりと受けとめながら、長期的な展望を持って各自の授業の質的向上に向けて、日々研鑽を積んでいくことが求められていると思います。

ありがとうございました

退職する先生より

退職される9人の教職員の皆様から3人の先生の言葉を紹介します。

お世話になりました

定年を機に退職させていただくことになりました。障害児の現場にいた私が、少しでも自分の経験を伝えたいという思いばかりで、11年間もの間、勤めさせていただいたのは、教員、職員、学生の皆様の支えのおかげと感謝いたしております。振り返れば、3部の廃止、3年制移行と、幼児教育科の大きな転換期に立ち会わせていただいたことになります。最後の3部生を送り出す日、最後の別れとなるかもしれないという思いが込み上げ、個別授与式の学生を前に、言葉が出ず、立ち尽くしてしまったことを思い出します。クラブ活動でも若い学生たちからエネルギーをもらい、楽しい生き生きとした時を過ごさせていただきました。また多くの卒業生

から結婚式に呼んでもらいました。人生の大切な1ページに参加させていただくことができたのを嬉しく思っています。教師という立場にありながら、学生たちから本当に多くのことを気づかせてもらっていたことを今更ながら感じています。

長年お世話になり、ありがとうございました。今後の大垣女子短期大学の発展をお祈り申し上げます。

幼児教育科 役田 亨



たくさん楽しませていただいた大垣女子短大

デザイン美術科は、今年2月、第40回卒業記念展を開催しました。40年の歴史と伝統を築かれたデザイン美術科卒業生の皆さんと先輩諸先生方に深く敬意を表します。わずか5人の学生からスタートした美術科、開設当初、学生募集に奔走されたご苦労を鈴木先生や高橋先生からお聞きました。また、短大では全国初めてのマンガコース創設、篠田先生、渡辺先生、田中先生のご尽力により、マンガと言えば大垣女子短大といわれるまでになり、卒業生のプロマンガ家が活躍中です。マンガの先生方のユニークで斬新なアイデアには、いつも驚かされ楽しませていただきましたが、それが日頃の緻密な努力の積み重ねにより生み出されていることも知りました。デザイン美術科の学生は一人ひとり個性が豊かです。学生を理解し、学生に寄り添い導き出す指導、涵養の大切さを松本先生と加納先生に教えていただきました。先生方の教えは、それぞれの学生に

とってその後の生き方を探る道標になっていることを確信しています。私は、本学の国際教養科で1年半、デザイン美術科で12年間、お世話になりました。単なる興味本位で始めたコンピュータでしたが、ハードやソフト、ネットワークの日進月歩を追いかけてながら仕事をして参りました。一方、好きな山歩きには若い学生を巻き込み、私自身がたくさん楽しませていただきました。

これまでの本学職員の皆様方のご指導、学生の皆様方のご協力に感謝申し上げ、本学の益々の発展を祈りつつ、40期生とともに卒業させていただきます。ありがとうございました。

デザイン美術科 三宅 喜美代



実習中は怖いおばさん

33年前、先輩達の見様見真似で、かなり背伸びして実習を担当したことが、つい昨日のことのように思い出されます。以来今日まで、多くの学生と共に学んできました。実習室で大声を張り上げての授業。声がデカイことが、私のトレードマーク。「実習中は怖いけど、それ以外の先生はお母さんみたい。」と学生によく言われました。確かに実習中は、口うるさい怖いおばさんでしかなかったかもしれません。しかし、卒業して社会に出た時、その時言った言葉が支えとなってくれば、こんなに嬉しいことはありません。卒業生として、こんなに長く母校においでいただけて、多くの

後輩と出会えたことに深く感謝しています。これからは、非常勤講師として、微力ながら後輩を育てるお手伝いをさせていただきます。

本学の春は、校舎を東西に分ける満開に咲き誇る桜から始まります。桜を迎える本学に、自分を開花させる学生達が集う、そんな学校であることを願っています。

歯科衛生科 関谷 智子



日本中央看護専門学校から大垣女子短期大学看護学科へ

理事長 中野 哲

日本中央看護専門学校は、日本の中央に位置する大垣市にある看護専門学校という意味で名付けられた学校である。この学校は平成5年に開校以来、大垣市をはじめ西濃医療圏で唯一の看護教育のレギュラーコースを持った教育機関として、現在までに800名近くの卒業生を輩出してきた。そして本学の姉妹校として、建学の精神「中庸を旨とし、勤労を尊び、職業人としての総合能力を有する人間性豊かな人材の養成」と全く同じ人間性溢れる教育を受けた卒業生は、高度な医療を誇る県下有数の大垣市民病院をはじめとして西濃地域圏の医療に貢献してきた。

しかし、近年の高学歴社会の到来で、医療は複雑かつ多様化してきて、全国的に看護師教育は専門学校より短期大学や大学でという流れとなってきた。日本中央看護専門学校では、今年の入学者を最後として学生募集を打ち切り、来年からは本学に看護学科を立ち上げて看護教育を行うことになった。

さて近年、日本の社会が大きく変貌し、高齢者も増加している現在、医療の高度化、複雑化などで医療環境は随分と様変わりしてきている。

看護師は病める人々を対象とすることで、医学知識、医療技術以外に弱者に対しておもしろい心、いたわる温かい心が必要である。両校の建学の精神に謳われているような人材の養成には環境が極めて重要な要素である。その点、大垣女子短期大学の4つの学科でそれぞれの専門分野の学生と、新学科で看護師を目指す学生の交流によって従来より幅の広い人間性豊かな人材が育つ可能性が大きく、大いに期待したい。



大垣女子短期大学 〒503-8554 岐阜県大垣市西之川町1-109 TEL. (0584) 81-6811 (代) FAX. (0584) 81-6818 <http://www.ogaki-tandai.ac.jp>
Ogaki Women's College 【学科構成】幼児教育科・デザイン美術科・音楽総合科・歯科衛生科



◆(財)短期大学基準協会による第三者評価が始まった初年度の平成17年度、全ての評価領域において「適格」認定。



◆平成19年度、全ての校舎、耐震補強完了。

◆平成14年度から学内外全面禁煙。

平成20年度 文部科学省 教育GP
大垣女子短期大学
地域の子育て施策を活用した教育方法の改善

◆大垣女子短期大学の教育活動が平成20年度文部科学省選定の「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」に選ばれました。

大垣女子短期大学通信

みずき 2012 春号 No.28

発行日/平成24年3月2日
編集/広報委員会
発行/大垣女子短期大学
E-mail tosho@ogaki-tandai.ac.jp